

# 平成28年度 自己評価

こども広場あんり

平成29年 1月19日

		評価項目	目標設定の理由	取り組み状況	結果 (%)			
					A	B	C	D
1		乳幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境の構成をする	乳幼児の成長にとり、実体験が大切である。その体験が豊かになるためには、乳幼児が見たい・知りたい・やりたいと思える環境構成が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長の様子を見ながら、遊びが続くようにままごとや机上あそび等の玩具を変化させて環境を整えた。</li> <li>季節や子どもの興味を考えながら、クラス職員や学年職員で話し合いを重ね、環境構成を工夫してきた</li> </ul>	4	61	31	4
2	3歳以上児	指導計画は、マンネリ化しないように見直しを行い、乳幼児の状況の変化に対応する。	長いスパンで繰り広げられる保育を展開する中で、乳幼児の実態を見て、状況にあった充実した保育の展開をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの様子を日々記録することで、子どもの成長の過程がよくわかり、その様子を踏まえて個々にあった個別計画を立てることができた。</li> <li>学年で今までの進め方を見直し、新しいことを取り入れるところと継続していきたいことを話し合いながら、保育の計画を立てた。1号と2号の子どもの実態に合わせて計画した。</li> </ul>	9	69	22	0
	3歳未満児	個別計画が適切に立てられているか。						
3		保育の流れや乳幼児のことなど、常に保育者同士話し合い、情報の共有をする。	乳幼児の姿は一人ひとり異なる。また、乳幼児の見せる姿やそのとらえ方は、保育教諭により異なる。保育教諭間意見を交換し、多面的に幼児を捉えることが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定子ども園1年目ということで、クラスや学年で話し合う機会を多く設け、保育教諭間での連携をとりあうことができた。</li> <li>保育教諭、園児共に人数が多いので、今後も意見交換の場を多く設けていくことが必要だと思う。</li> </ul>	35	43	22	0
4		各自が保育教諭としての良識を大切にして、能力を高めるよう努める	保育教諭としてふさわしい態度を身に付けると共に、専門的知識を得る機会に積極的に参加することにより、社会人としてレベルアップを図りたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修に積極的に参加するよう心がけた。学んだ事を自分の保育に生かすきれてはいない。</li> <li>研修していく中で専門知識を高めていくように努力はしてきたがまだまだ勉強が必要だと感じている。</li> </ul>	0	22	69	9
5		地域や社会とのかかわり	認定こども園に求められる社会的ニーズの変化に対応し、地域に根ざす園づくりについて考えていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人として、地域の方への挨拶や気持ち良い対応を心がけているが、地域に根ざす園づくりとの視点に立って考えるところまでにはなっていない。</li> <li>認定こども園の保育の中では自身の役割を果たすことに努力をしている。</li> </ul>	4	22	31	43
6		保護者のニーズの把握に努め要望や苦情に適切に対応できる体制をつくる。	乳幼児の育ちの背景にある家庭の姿に迫るためには、さらに保護者との緊密な連携が必要となる。保護者の思いを受け止める体制をつくと共に、乳幼児のより良い育ちに向けて、共に学ぶ姿勢づくりを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さなことでも丁寧に保護者に伝えることを心がけている。</li> <li>子どもの様子から保護者と面談を設けたり、思いを受け止めながら一緒に解決方法を考えるように努力してきた。個々には伝えられるが全体にはうまく伝えきれていない。</li> </ul>	13	44	39	4